

Library

町生涯学習センター図書室からの2月のおすすめ図書

Library Information

図書室からのお知らせ

■ 0歳児からのおはなしの会について

図書室では、毎月第2木曜日に「0歳児からのおはなしの会」を行っています。絵本の読み聞かせや、手袋人形、手遊びうたなど楽しい内容です。子育て中の保護者のみなさん、おじいちゃん、おばあちゃんも子どもたちとお気軽にご参加ください。

●開催日時

2月9日(木)
午前10時30分～

●図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先

町生涯学習センター図書室
☎096-234-2447(内線331)

人との繋がりが胸を打つ連作短編集 青山 美智子著/『月の立つ林で』



ポプラ社
小説

病院を辞めた看護師、売れない芸人、家族との関係の変化が寂しい整備士、親から自立したい女子高生、仕事と家族とのバランスに悩むアクセサリー作家。それぞれの日常の悲喜こもごもが、やわらかく繋がって、かけがえのない毎日を紡いでいく…。胸を打つ読後感で、明日へと優しく背中を押してくれるような1冊です。

るすばん中のねこ、何している！？ 町田 尚子作/『ねこはるすばん』



ほるぶ出版
児童書

人間がでかけたあと、猫はおとなしくおるすばん…なんてしていると思う？人間の知らない猫の時間があるかも！豊かな表情で描かれている猫は、ふてぶてしかったり、おまぬけだったり…。本当に猫ってこんなことしているかもと思わせてくれる楽しい絵本です。2月22日は猫の日。読み聞かせにおすすめです。

77カ国201人の人生ストーリー 主婦の友社編/『世界の家の窓から』



主婦の友社
一般書

コロナ禍初期、各国で隔離政策やロックダウンが始まり、人々は孤立していった。その時、ベルギーのパラバ・デュリオさんがFacebook内に立ち上げたのが「私の窓からの眺め」。自宅の窓からの風景写真にコメントを添えて投稿するというもの。そこに寄せられた77カ国の「自宅の窓の風景」は、あたたかく世界を繋ぎました。

子育て中の暮らしを気張らずに心地よく。 美濃羽 まゆみ著/『子どもの「好き」から始まる心地よい暮らし』



大和書房
教養娯楽

「片づけられない」「偏食がすごい」「学校へ行きたくない」そんな子どもたちと、「ちゃんとしなくちゃ」から離れて、気張らない暮らしを始めてみたら、大人にとっても心地よい暮らしになった…。見せる収納、定番料理は10種類、子どもと作れるレシピなど、新しい衣・食・住の暮らしのスタイルを提案。子育てのヒントも満載です。

町生涯学習センター図書室のご利用について

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人5冊まで、15日間

朝、雄鶏が元気な声で鳴くと、主人公のジャックは、ぱっと起きて「今日は、でっかいホットケーキが食べたいなあ」と言います。でも、お母さんはとても忙しく「手伝ってくれないとできないわ」と言います。そこで、手伝うことになるのですが、なんと小麦を鎌で刈り取るころから始まるのです。それをロバの背に乗せて運び、小麦の粒を取り出し、水車小屋で粉にしてくれます。雌鶏に餌をやって卵を産んでもらい雌牛

今月の案内人



小屋敷 京子さん
(町図書室職員)

Read This Story!

～ My Favorite Story ～ 私のおすすめ図書

『ホットケーキできあがり!』(エリック・カール著・アーサー・ビナード訳)

ジャックはホットケーキを作るために大変苦勞します。なんせ畑の小麦を収穫するところから始まるのですから…。ポップなイラストも必見です!

の乳を絞り、バターを作り、火を燃やすための薪を運びます。

全部そろったら、いよいよお母さんと一緒にホットケーキを焼きます。これだけの手間をかけて作ったホットケーキの味は、別格だったでしょう。最後の見開きいっぱい描かれたジャックの表情は、とても満足そうです。

エリック・カールの独特な手法で描かれている、色彩豊かな



楽しい絵本です。ぜひ、読んでみてください。

●あなたの「おすすめ図書」をご紹介しますませんか？

町生涯学習センター図書室
☎096-234-2447(内線331)

Public Hall

町公民館からのお知らせ

▶ 町公民館からのお知らせ

第26回甲佐町公民館大会

●開催日時
3月18日(土)
午前9時 開会

●会場
町生涯学習センター・ホール

●発表内容
令和4年度出前講座実績報告

●講演
・講師
コミュニケーションプログラム
デザイン研究所(CPDI)
代表 三角幸三さん

町内公民館関係者および多くの
町民の皆さんのご参加をお待ちし
ています。

●公民館講座や町民大学などに関する
お申し込み・お問い合わせ先
町教育委員会公民館事務局
☎096-234-2447(内線321)

町公民館出前講座 介護予防を学ぶ

11月29日(火) 南三箇公民館で出前講座が開催されました。

町福祉課の内村溪一郎保健師を講師に迎え、南三箇老人会の7人が介護予防に



▲内村保健師の説明に耳を傾ける参加者の皆さん

ついて学びました。参加者は、要介護認定の主な原因や要介護状態の前段階であるフレイルの段階で早期に対処すれば健康な

状態に戻る可能性があることを学びました。

内村保健師は「自立した生活を続けるためにも早期の介護予防が大切です。町では、椅子に座ってでもできる『いきいき百歳体操』を中心とした介護予防活動を推進しています。皆さんと交流しながら、楽しく介護予防に取り組みましょう」と呼び掛けました。

町公民館主催講座

お正月飾りを作ろう

12月22日(木) 町農業研修センター「ろくじ館」で、町公民館主催講座(ステツプアップ講座)が開催され、お正月用のスワッグ作りを体験しました。スワッグとは、ドライフラワーなどを束ねた壁飾り

のこと。参加した21人は、講師の村上光治さん(下豊内区)の指導を受けながら、マツやナンテンなどにヒカ



▲講師の村上さんにアドバイスをもらいながら制作する参加者

ゲカズラやコットンフラワーなどを組み合わせ、オリジナルスワッグ作りに挑戦しました。参加者からは「村上さんが、丁寧に作り方を教えてくれて、とても楽しかったです。家に帰ったら、早速玄関に飾りたいと思います」と笑顔を見せました。

Human Rights

人権 ~心豊かに暮らすために~

■みんなが共に生きる社会のために

障がいを持つために毎日の暮らしや社会生活の中で困難を抱えている人がいます。障がいの特性に応じたコミュニケーションで、みんなが共に生きる社会の和を広げましょう。

■障がいの特性に応じた配慮

●聴覚障がい(ろう・中途失聴・難聴)
「ろう者」は主に手話を使用し、事故や病気が原因で後天的に聞こえなくなった「中途失聴者」や聞こえにくい「難聴者」は筆談や要約筆記、口話などの手段を選択するなど、そ

の人によってコミュニケーション方法が異なります。

まずはその人に合ったコミュニケーション方法を確認しましょう。話しかけるときは、口の動きや表情が分かるように、ゆっくり、はっきり明瞭に話をしてください。スマートフォンなどを活用してコミュニケーションをとる方法もあります。

●視覚障がい

生まれながらに見えない人もいますが、病気が原因で視覚に障がいが出る人もいます。全く見えない場合(全盲)と、見えづらい場合(弱視)があります。

盲導犬を連れていたり、白杖を持っている人もいますので、見かけた場合は道を譲り、歩行がしやすいよう配慮しましょう。お手伝いをする場合は、いきなり体に触れると驚いてしまうので、まずは「何かお手伝いしましょうか」などと前方から話しかけましょう。

熊本県健康福祉部子ども・障がい福祉局障がい者支援課冊子より作成

●人権に関するお問い合わせ先
町教育委員会社会教育課
☎096-234-2447(内線324)